

図書館だより

＜所有のパラドックス＞について

島根大学附属図書館長
佐々木 允 臣

きれいな空気や水が豊富にある時には、誰もその有り難みを感じない。生活の便宜を求めての大量生産・大量消費・大量廃棄の結果、公害が発生したり、天然の資源の有限性が感じられ始めた時、我々はやっとその有り難みに気付く。貴重なものが存在している時には、存在していない。存在が失われてしまった時、初めて存在する。

人権などもそうだ。未だに国定のイデオロギーが支配しているような国では、少し違った考えをもっていると疑われるだけで留置所や刑務所にまともな取り調べも、正式の裁判もないままに入れられる。その時の国家体制が何よりも優先し、＜人間の尊厳＞を保障する人権などは完全に無視されるのだ。しかし、実は、そういう状態の所でこそ人間らしく生きるために人権が存在するはずである。つまり、人権が存在するということは、特に、人権が存在しないと

きに重要なのである。この論法で推測すれば、人権が声高に主張されるときには、そこには何か異常なことの兆しがあるはずである。＜子供の権利＞が近年しばしば新聞等で話題にされる。権利条約が批准されたせいもあるだろうが、やはり学校で子供が一人の人間として成長していく権利が否定されている現実が多いからであろう。

沖縄での基地撤去の運動と絡んで、憲法と日米安保の関係が再び大きな問題になってきた。外国の基地が存在するために、沖縄の人たちの財産、生命、身体の安全といった基本的な人権が脅かされ続けてきたからだ。多数者の利害を守るために少数者は犠牲にならなければならないのであろうか。権利のなかでも、人権は多数決によっても奪われない権利のことを指す。しかし、人は自分の人権が否定されてみないとその存在に気付かないものかもしれない。

県内30市町村におじゃまします

県立図書館の配本事業と協力事業

当館では、県内全域へのサービスを目指して、市町村への配本事業と協力事業を行っています。

県内には活動の活発な市町村立図書館や公民館図書室等が数多くあります。しかし図書の数が少なかったり、専任の職員がいなかったりと現状は厳しいようです。

当館では、こういった市町村に対して、図書の大量貸出や図書館間の連絡を通じてバックアップしていきたいと考えています。

◎配本に伺う市町村（コース毎に表示）

○ 穴道、伯太、美保関

○ 木次、仁多、横田

○ 大和、掛合、加茂

○ 大田、多伎、大社

○ 日原、津和野、柿木、六日市

○ 川本 ○ 温泉津

○ 西郷、五箇、都万、海士、西ノ島

◎協力事業では、県内8市の市立図書館に伺います。

特別整理休館のお知らせ

平成8年7月2日（火）から7月11日（木）まで

特別休館になります。利用者の皆様には、ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いします。

なお、次の講座等を行います。

◎ 館外奉仕業務……読書会用図書の貸出し等（ただし、土、日曜日は除く）

◎ 古文書を読む会（近世）7月6日（土）・成人読書会7月9日（火）

万葉集を読む会7月11日（木）

◎ 新聞閲覧（土・日曜日を除く、午前9時から午後5時まで）

島根県公共図書館協議会総会 及び講師を囲む会を行います。

期 日 7月9日（火）・10日（水）

会 場 松江合同庁舎講堂

講 師 慶應義塾大学助教授 糸賀^{まさる}雅児氏

（町村図書館活動推進委員会委員長）

テーマ 生涯学習社会における図書館の設
置と振興

※よろしくおねがいします。

西部読書普及センター所長 豊田 邦雄
（当館次長事務取扱）

資料課長 山野辺 強
（西部読書普及センターから）

西部読書普及センター主任司書 矢野 信夫
（当館主任司書から）

主任 原 武志（衛公研から）

「眼に優しく 大活字本 大歓迎の巻」

安来市在住 松本房枝さん

我が市立図書館の入口には新刊書が、続いて大活字の本が並べてある。以前から近視で眼の疲れに悩んだ私は早速この大活字本のとりことなった。細字になれていた当初はこの大活字が視野に飛びこんで来る様な錯覚と親しみを感じた。これで主な夜の読書も悩みが解消し楽しみが増した。

数日前貸りた水木しげる氏の「ねぼけ人生」上・下巻488頁も一気呵成に然も2回の再読で感動を新たにした。氏が戦争で片腕を失った人とは思えぬユーモア一杯の諷刺と豁達なタッチは興味とスリルの連続で充分魅了させられた。幾度か生死の岐路にありながらいつも融通無碍、読者に抱腹絶倒の安らぎと余韻を与えてくれる。

反面「人間が生きていく上には自己の力や意志以外の不可思議な要素がかみ合っこそ生かされている…」と心の真髄にふれてある。

タイトルの「ねぼけ人生」どころか、偉大な「人生哲学」とも稱したい指針とも云える。

いつか散策した境港市の水木ロード「ゲゲゲの鬼太郎」も私にとって単なるモニュメントではなくなった。読後はより身近な親しみやすいものとなった。もう一度探訪

して頭をなでてやりたい程の愛着を感じる。ちょうどさらっと飲めてこくとまろやかさがいつまでも残る飲料水のような読後感に浸ったからだろう。

去る10月松江くたびきメッセでの藤本義一氏の講演で「1日50頁の読書続ける事で情報を知り、人生を凝縮して生きる価値がある…」と読書礼賛をなさった。

氏の高度な専門書の読書と私のそれとは勿論次元に隔差はあるが、たしかに読書は蘊蓄を深め心を豊かに出来る。

「眼が悪いので…」と年輩者とにかく敬遠されがちな読書も大活字なら期待されよう。最近は小学生の近視も多く大活字本が普及されたら更に読書意欲も蘇生しよう。

図書館に大活字本が配備されている事や大活字の国語辞典が入手出来る事を知らない人に、公報などでももう少しPR出来ればとしきりに思う昨今である。



行事予定

6月



1 土
古文書を読む会
(近世)
14:00~16:00

2 日	3 月 休館日	4 火	5 親子で 絵本を読む会 15:00~15:40	6 木	7 金	8 土
9	10 休館日	11 成人読書会 13:00~15:00	12 親子で 絵本を読む会 15:00~15:40	13 万葉集を 読む会 14:00~16:00	14 出雲国 風土記を読む会 13:00~15:00	15 古文書を 読む会(中世) 13:30~15:00
16	17 休館日	18	19 親子で 絵本を読む会 15:00~15:40	20	21	22 子ども あたのしみ会 10:00~11:30
23 30	24 休館日	25	26 親子で 絵本を読む会 15:00~15:40	27	28	29 月末 休館日

・館内展示……「海の日」にちなんだ資料展

7月

1 月 休館日	2 火	3 水	4 木	5 金	6 土 古文書を 読む会(近世) 14:00~16:00
7 日	8	9 成人読書会 13:00~15:00	10	11 万葉集を 読む会 14:00~16:00	12 出雲国 風土記を読む会 13:00~15:00
14	15 休館日	16	17 親子で 絵本を読む会 15:00~15:40	18	19
21	22 休館日	23	24 親子で 絵本を読む会 15:00~15:40	25	26
28	29 休館日	30	31 月末 休館日	27 子ども あたのしみ会 10:00~11:30	

・館内展示……オリンピックに関する資料展



※各種講座は講師の方の都合により変更する場合があります。

利用案内

- 休館日
毎週月曜日・国民の祝日
毎月末日(月末が日曜日にあたるときはその前日)
年末年始 12月28日~1月4日
図書整理休館(春・秋、それぞれ10日間)

- 開館時間 9時~18時
子ども室は火曜日~土曜日は13時~18時
ただし、小・中学校の週5日制導入にともない、
第2土曜日・第4土曜日・春・夏・冬休み期間中は
午前9時から開きます。

- 貸出し
冊数…5冊以内
期間…15日